

事務事業名 (仮称)加茂BSスマートIC整備事業		所属部 建設部	所属課 都市計画課
総 計 画 体 系	政策名 (Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>	所属G スマートIC整備G	課長名 小村 利之
	施策名 (12)道路の整備	担当者名 佐藤 大亮	電話番号 0854-40-1064 (内線) 2461
	目的:対 象 市民 意図 市内及び市外へ安全で便利に移動できる。	予算科目 会計 款 大事業 大事業 0 1 4 0 0 8 業名 項 目 中事業 中事業 1 0 1 5 0 1 業名	国道・県道整備事業
	基本事業名 (034)道路の新設・改良 目的:対 象 道路利用者 意図 安全で便利に移動できる。		高速道路整備関連事業

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H29 年度 ~ R4 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
(事務事業の概要) (仮称)加茂BSスマートIC開設に向けて、関連市道、バスストップを整備する。
○市道神原企業団地1号線 延長 L=550m、幅員W=9.75m
○市道加茂インター線 延長 L=150m、幅員W=8.50m
○加茂バスストップ等支障移転 駐車場、待合所等 A=3,000㎡ 側道 L=1,040m

(2) 事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動					
	R元年度実績 (R元年度に行った主な活動)	R2年度計画 (R2年度に計画する主な活動)				
	・地質調査 1式 ・標識設置計画 1式 ・伐採 A=6,516㎡ ・道路整備工事 L=310m ・BS仮設駐車場舗装・標識移設 1式 ・用地買収 A=14,388㎡	・伐採 A=5,230㎡ ・加茂インター線工事委託 1式 ・道路整備工事 L=375m (神原企業団地1号線) ・調整池設計業務				
	② 活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
ア	整備延長	m	0	0	310	375
イ	供用延長	m	0	0	175	0
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目 的	① 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	高速道路利用者	ア 高速道日平均通行台数	台	5,304	5,286	5,451	5,500
		イ					
		ウ					
	② 意図 (対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	市内IC数を増やし、高速道路利用者の利便性を高くする	ア 市内IC数	箇所	3	3	3	3
		イ					
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
本工事費 79,394千円 測量試験費 19,613千円 (内繰越2,847千円) 用地費 12,290千円 補償費 11,743千円 事務費 552千円 計 123,592千円	財源内訳 国庫支出金 千円 10,808 県支出金 千円 29,594 地方債 千円 6,800 その他 千円 16,741 一般財源 千円 382	千円	10,808	29,594	55,964	149,777
	事業費計 (A)	千円	17,990	92,456	123,592	272,046
※合併特例債	人件費 正規職員従事人数 人 2 延べ業務時間 時間 960 人件費計 (B) 千円 3,914	人 時間 千円	2 960 3,914	2 1,500 6,498	2 1,500 6,360	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	21,904	98,954	129,952	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
当スマートIC設置に向けて、「(仮称)加茂BSスマートIC地区協議会(構成:国、県、NEXCO、地域自主組織、商工会、きらきら雲南、市)」をH29.7.5に設立し、実施計画書を国へ提出した。 国よりH29.7.21に事業決定、H29.8.4に連結許可を受け、R元.12月から工事着手。	国土交通省、島根県、NEXCOと協議をしながら進めている。 建設コスト削減を目指して、設計に取り組んでいる。 NEXCOとは毎月担当者会議を開催し、工程調整等を行い、事業促進を図っている。	スマートICは早期の供用開始を求められている。隣接する神原企業団地への企業立地や周辺の文化・スポーツ施設・観光地へのアクセス向上による整備効果、利用促進の早期実現を求められている。

事務事業名	(仮称)加茂BSスマートIC整備事業	所属部	建設部	所属課	都市計画課
-------	--------------------	-----	-----	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合		
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合			
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由	ICの配置は設計要領による基準があり、神原企業団地と加茂町の文化・スポーツ施設へのアクセスを目的としており、また地理的条件からほかの適地がないため。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？			
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由	加茂BSスマートICが開設できない。また、神原企業団地への企業立地に影響がある。		
C 効率性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由 類似事業はない。	
D 公平性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	道路の規格・構造は一定の基準に基づいて設計しており、工法についても比較検討のうえ採用している。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	測量・設計については業務委託をしているが、積算や用地交渉、地区協議会の運営等は直営でなければならない。		
⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？				
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由	加茂BSスマートIC整備への取り組みについては、神原企業団地造や観光産業など市内全域が対象となることから、高速道路の活用により雲南市全域が受益対象者となる。		
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)		
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	国土交通省・NEXCOと協議しながら、建設コスト、ランニングコストを軽減できるよう検討し、協議・整備を行っている。企業団地拡張とも残土の有効利用等連携を図り、コスト削減に努めている。		
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり				
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり				
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり				

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下		×	×
		コスト																		
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	●	×																	
低下		×	×																	
スマートIC整備促進のほか、スマートICの利用促進と活用(企業団地拡張等)に向けた取り組みも必要である。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			